

平成25年度「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」検証シート

海老江東小学校

児童数

51

平均値

	種目別平均								
	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20mシャトルラン	50m走	立ち幅跳び	ボール投げ	体力合計点
本校男子	17.91	19.23	35.64	46.64	50.00	9.23	164.45	25.27	57.64
大阪市男子	16.45	19.14	32.01	38.22	47.80	9.38	149.19	23.45	52.26
全国男子	16.63	19.54	32.74	41.41	51.41	9.38	152.07	23.19	53.87
本校女子	18.21	18.31	40.83	41.86	37.59	9.49	152.79	17.00	58.59
大阪市女子	16.00	17.41	36.30	35.86	36.32	9.65	140.82	14.06	52.84
全国女子	16.14	18.06	36.87	39.06	39.66	9.64	144.55	13.94	54.70

結果の概要

- ◇すべての種目において、男女とも大阪市の平均を上回っている。また、体力合計点でも男女とも全国平均を約7%上回っている。
- ◇特に、男子の反復横とびでは13%、女子のソフトボール投げでは22%、全国平均を上回っている。
- ◇男子では「上体起こし」と「20mシャトルラン」、女子では、「20mシャトルラン」において、大阪市平均を上回っているものの全国平均より下回っている。

これまでの取組の成果と今後取り組むべき課題

- ◇一定の期間を設けての体力づくりの取り組みの成果が表れている。(12月のなわとび運動は調整力と持久力、1月のかけ足運動は、持久力を向上させている) また、地域子ども会でのスポーツ活動が子どもたちの運動能力の向上に大きく貢献している。
- ◇本年度より、体力ビンゴタイムを6月と12月に設定し、普段使わない体の部分(足の指で動く・片足でのバランス保持・利き手ではない手でのドリブルなど)の運動感覚や筋力の向上に努めた。今後、さらに新しい運動を加えるなどの改善を図る。
- ◇持久力については、なわとび運動の中に持久とびを加えることや、普段の体育学習の中にラダートレーニングを取り入れるなどして向上に努める。
- ◇運動やスポーツすることがきらいと回答している児童が女子に見られる。自分の健康や体力の保持増進のためにも、運動やスポーツに親しめる場を多く提供していく。

小学校男子 基本的生活習慣・運動のきっかけ

結果の概要

- ◇朝食は「毎日食べる」が91%、「食べない日がある」が9%で「毎日食べない」はいなかった。
- ◇睡眠時間は「8時間以上」が50%、「6時間以上8時間未満」が50%で、「6時間以下」はない。
- ◇「今後どのようなことがあれば、今よりもっと運動やスポーツをしてみようと思うか」では、「好きな種目、できそうな種目があったら」「活躍するスポーツ選手に教えてもらったら」「上手にできなくても自分のペースで運動やスポーツを行うことができたから」が50%を超える高率であるのに対し、「授業で教えてもらう」「家族と一緒に」は10%を下回っている。

質問番号 質問事項

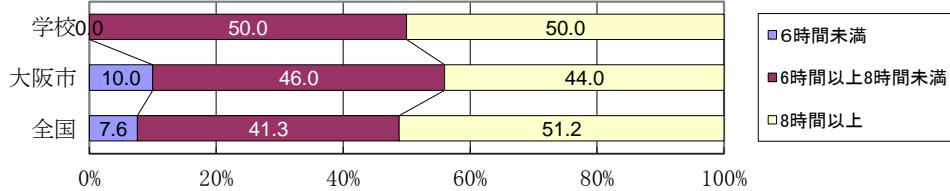
9

朝食は食べますか



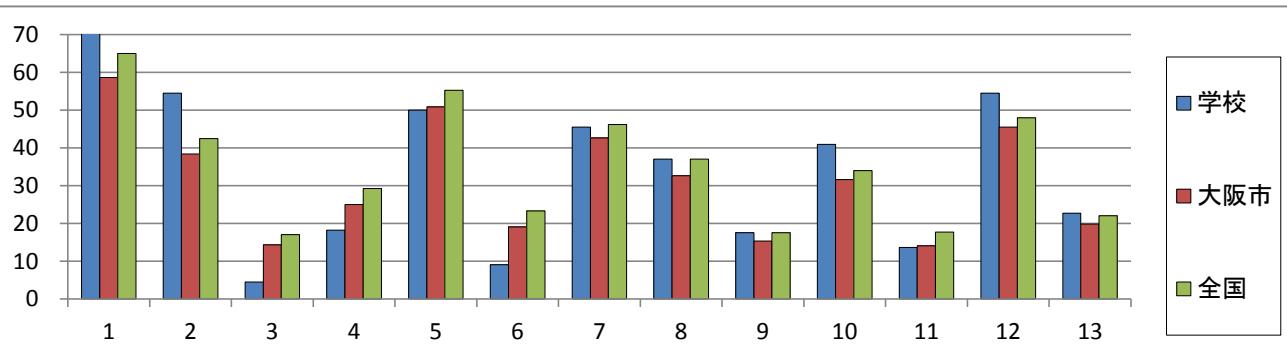
10

1日の睡眠時間



12

今後どのようなことがあれば、今よりもっと運動やスポーツをしてみようと思いますか。



成果と課題

- ◇朝食を毎日とる・睡眠時間を十分にとるという基本的な生活習慣においては、大阪市や全国平均を上回っている。子どもたちは、健康な家庭生活の支えのもとで運動に取り組める環境にある。
- ◇運動へのきっかけでは「上手にできなくても自分のペースで運動やスポーツができる」が大阪市・全国平均より高くなっている、学校での子どもの主体的な体力づくり環境(なわとび運動・体力bingo・かけ足運動など)の結果が繁栄されている。

今後の取組

- ◇基本的生活習慣の定着と安定が子どもたちの体力づくりの基盤となることから、今後も家庭の協力が得られるよう啓発活動を続けていく。
- ◇子どもたちが自分のペースで自由に運動に取り組めるような環境をさらに充実していく。

小学校女子 基本的生活習慣・運動のきっかけ

結果の概要

- ◇朝食は「毎日食べる」が81%、「食べない日がある」が11%で「毎日食べない」はいなかった。
- ◇睡眠時間は「8時間以上」が53%、「6時間以上8時間未満」が36%で、「6時間以下」が11%いる。
- ◇「今後どのようなことがあれば、今よりもっと運動やスポーツをしてみようと思うか」では、「好きな種目、できそうな種目があったら」「友達といっしょにできたら」が60%を超える高率であるのに対し、「一人でできるものがあったら」「自分の体力、運動能力や体のことで不安なことがあつたら」「先生や家族からすすめられたら」は10%と低い。また、「いつでも自由に使えたり遊べたりする場所があつたら」が全国平均より6%高い。

質問番号 質問事項

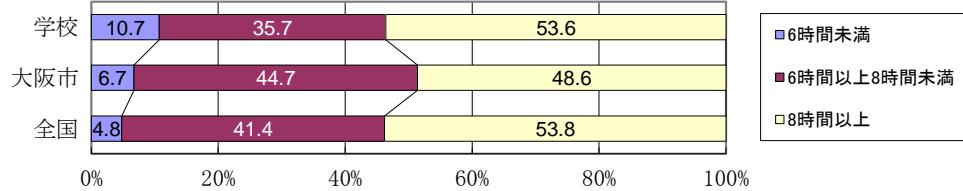
9

朝食は食べますか



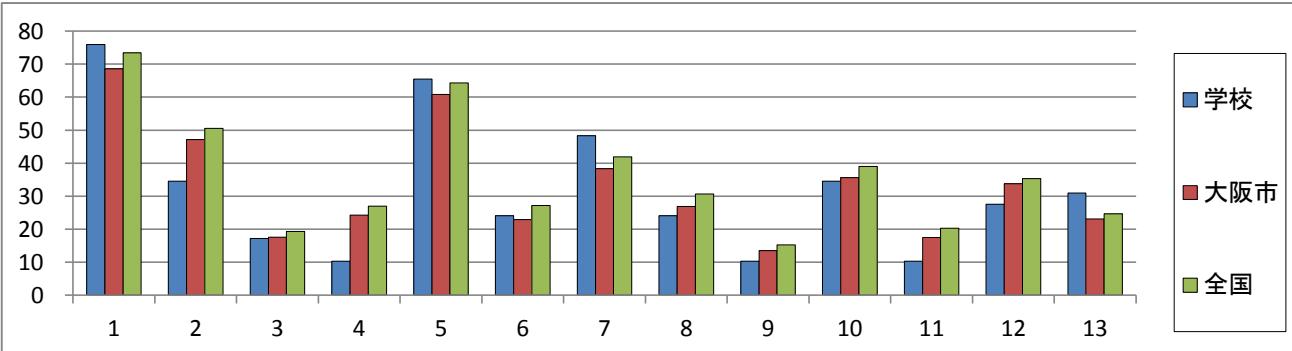
10

1日の睡眠時間



12

今後どのようなことがあれば、今よりもっと運動やスポーツをしてみようと思いますか。



成果と課題

- ◇朝食を「毎日食べる」は90%、「食べない」はないものの「食べない日がある」が10%ある。また、睡眠時間では「8時間以上」が全国平均並みであるが、「6時間未満」が11%と大阪市や全国平均を上回っている。睡眠時間が十分ではない子どもが一定数いる。

今後の取組

- ◇基本的生活習慣の定着と安定が子どもたちの体力づくりの基盤となることから、今後も家庭の協力が得られるよう啓発活動を続けていく。
- ◇子どもたちが自分のペースで自由に運動に取り組めるような環境をさらに充実していく。

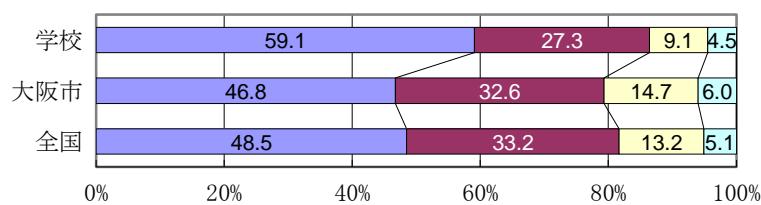
小学校男子 運動・スポーツに対する意識

結果の概要

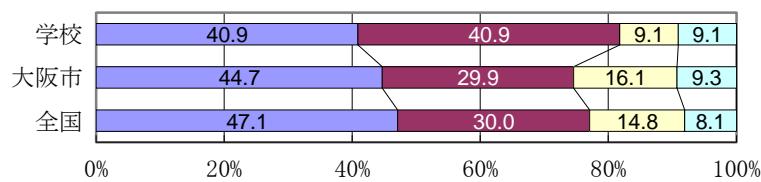
- ◇「運動やスポーツをすることが得意ですか」では、「得意・やや得意」が全国を上回っている。特に、「得意」では、約10%上回っている。
- ◇「運動やスポーツをすることは好きですか」では、「好き・やや好き」が全国より約4%高く、「きらい」と回答した児童はいない。
- ◇1, 2年生の頃との比較では、「運動やスポーツが得意・やや得意」の割合が高くなっている、「やや苦手・苦手」「ややきらい・きらい」の割合が減少している。

質問番号	質問事項
------	------

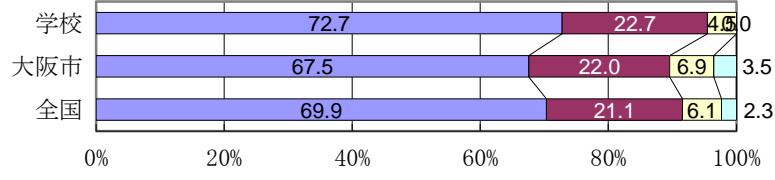
13
運動やスポーツをすることは得意ですか



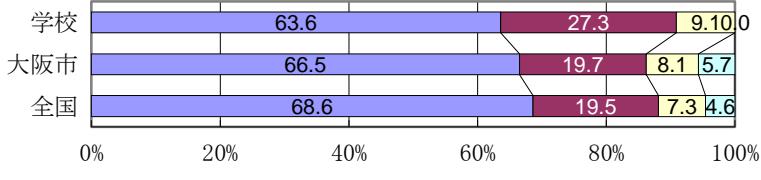
26
小学校1, 2年生のころは運動やスポーツ、運動遊びなどをすることが得意でしたか



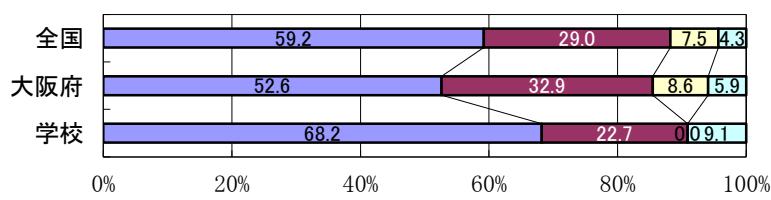
14
運動やスポーツをすることは好きですか



27
小学校1, 2年生のころは運動やスポーツ、運動遊びなどをすることが好きでしたか



4
運動実施状況



成果と課題

- ◇現在と1, 2年生の頃との比較では、「運動やスポーツが苦手」「ややきらい」が減少している。学校での体育の授業や授業以外でのなわとび運動やかけ足運動、体力ビンゴなど体力増進に取り組んだ活動、地域子ども会でのスポーツ参加の場が多くあり、それらが効果をあげていると考えられる。
- ◇運動実施状況において、一定数「運動をしない」児童がいる。

今後の取組

- ◇子どもたちに運動やスポーツに親しむ機会を多く設定することで、得意でなくとも自分の健康の保持増進のために運動に取り組もうとする態度を養っていく。

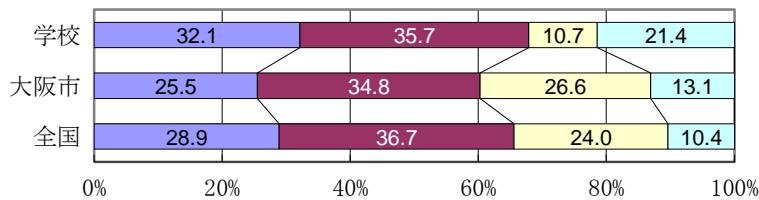
小学校女子 運動・スポーツに対する意識

結果の概要

- ◇「運動やスポーツをすることが得意ですか」では、「得意・やや得意」が全国とほぼ同じだが、「苦手」の割合が21.4%と大阪市や全国より高い。
- ◇「運動やスポーツをすることは好きですか」では、「好き・やや好き」が全国より約5%高い。
- ◇1, 2年生の頃との比較では、「運動やスポーツが苦手」や「運動やスポーツが嫌い」がやや減少している。

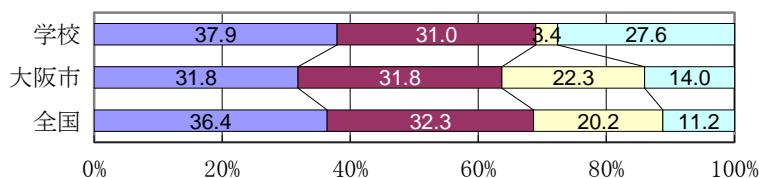
質問番号 質問事項

13 運動やスポーツをすることは得意ですか



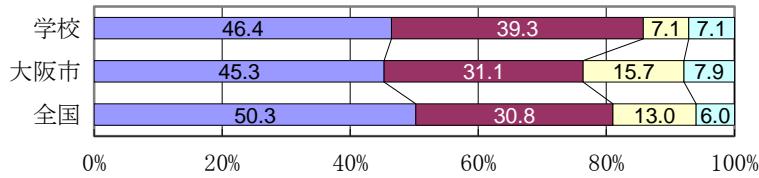
- 得意
- やや得意
- やや苦手
- 苦手

26 小学校1, 2年生のころは運動やスポーツ、運動遊びなどをすることが得意でしたか



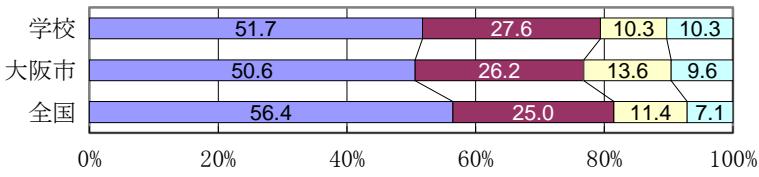
- 得意だった
- やや得意だった
- やや苦手だった
- 苦手だった

14 運動やスポーツをすることは好きですか



- 好き
- やや好き
- やややきらい
- やきらい

27 小学校1, 2年生のころは運動やスポーツ、運動遊びなどをすることが好きでしたか



- 好きだった
- やや好きだった
- やややきらい
- やきらい

4 運動実施状況



- ほとんど毎日
- 時々
- ときどき
- しない

成果と課題

- ◇現在と1, 2年生の頃との比較では、「運動やスポーツが苦手」や「運動やスポーツが嫌い」がやや減少しているのは、学校での体育の授業や授業以外でのなわとび運動やかけ足運動、体力ビンゴなど体力増進に取り組んだ活動、地域子ども会でのスポーツ参加の場が多くあり、それらが効果をあげていると考えられる。
- ◇「運動やスポーツをすることが嫌い」を減らす。

今後の取組

- ◇子どもたちに運動やスポーツに親しむ機会を多く設定することで、得意でなくても運動するのが好き、スポーツするのが好きな感じる子どもも増やす。